

第1回 ふじみ衛生組合地元協議会 会議録（要旨）

- 1 開催日時 平成21年11月4日（水）19時から21時
- 2 開催場所 ふじみ衛生組合2階大会議室
- 3 委員出欠 出席 24人
 - ・出席委員 石坂卓也、伊地山和茂、岡本稔、小林秀行（副会長）、小林又市、小林義明、小松日出雄、佐藤由朗、嶋田一夫、清水八千代、田中一枝、野中勇一、馬部昭二、増田雅則（会長）、矢田部正照、山田知英美、山本益雄、高畑智一（副会長）、内藤和男、岡本正昭、荻原正樹、大木和彦、藤川雅志、長岡博之
- 4 出席者
事務局 田中實、深井恭、緑川洋一、御前憲昭、飯泉研
JFEエンジニアリング株式会社
パシフィックコンサルタンツ株式会社
- 5 傍聴者 5人

【議事次第】

- 1 開会
- 2 管理者あいさつ
- 3 副管理者あいさつ
- 4 委員自己紹介
- 5 要綱の確認
- 6 会長選出
- 7 会長あいさつ
- 8 副会長選出
- 9 副会長あいさつ
- 10 運営規程の確認
- 11 協議及び報告事項
 - （1）地元協議会のスケジュールについて
 - （2）新ごみ処理施設整備に係るこれまでの経過について
 - （3）新ごみ処理施設整備の概要について
 - （4）建設工事の概要について

1 2 確認事項

今後の地元協議会の開催日程について

1 3 閉会

【配付資料】

議事次第

【資料1】ふじみ衛生組合地元協議会委員名簿

【資料2】ふじみ衛生組合地元協議会設置要綱

【資料3】ふじみ衛生組合地元協議会の運営に関する規程（案）

【資料4】ふじみ衛生組合地元協議会スケジュール（案）

（参考資料1）ふじみ衛生組合新ごみ処理施設の経緯

（参考資料2）新ごみ処理施設整備実施計画

（参考資料3）工事概要説明書

（参考資料4）新ごみ処理施設整備環境影響評価書案のあらまし

（参考資料5）新ごみ処理施設整備環境影響評価書案に係る見解書の要旨

【会議録】

午後7時 開会

1 開会

【事務局あいさつ】

【配付資料の確認】

2 管理者あいさつ

清原管理者： 第1回目となりますふじみ衛生組合地元協議会に、お忙しい中ご出席をいただきまして、まず、心から感謝を申し上げます。皆様、どうもありがとうございます。

このたび、日ごろお忙しい中、ふじみ衛生組合地元協議会委員就任をご快諾をいただき、また、公募で参加してくださった皆様、私たちにとって欠かせない新ごみ処理施設の取り組みについて、さまざまな角度からご意見、ご提言をいただければありがたいと思います。私どもは適時に、このような協議会を開設したいと考えてまいりました。私が市長に就任しまして7年目となりますけれども、当

初、両市の市民の皆様で検討していただく段階、さらには適地をどこにするかという、適地を選考する段階。さらには、どのような新ごみ処理施設の機能とするかということで、ストーカ炉を選択する経過などなど、毎日毎日が、新ごみ処理施設に向けて、大変貴重な検討と、市民の皆様からのお声をいただく経過をたどってまいりました。特に、地元の市民の皆様から民事調定が提出されまして、この6月に調定がまとまったわけですが、その中には、大変重要な内容として、早急に地元協議会を設置してほしい、するべきである、このような項目が入りました。正副管理者としても、このような機会を持ちたいと考えておりましたが、あわせて、地元の市民の皆様にも、重要性を認識されて、本日、地元協議会を開設できますことを大変ありがたく思っております。

この地元協議会は、町会・自治会等推薦の皆様、また、公募で参加された方など、選出区分は異なりますけれども、ふじみ衛生組合の新ごみ処理施設の周辺にお住まいという共通項がございます。ふじみ新ごみ処理施設が適切な管理運営を行っていく中で、建設的なご意見やご議論をいただきますようお願い申し上げます。

さて、新ごみ処理施設整備事業につきましては、別途、平成18年度に設置しております市民検討会のご協力をいただいております。そのご協力の経過から、施設整備実施計画を平成20年の3月に策定をいたしました。そしてこの実施計画の策定作業と同時並行で、環境影響評価作業も進めてまいりました。これにつきましても、おかげさまで、平成21年の3月に、評価書案の公示・縦覧、そして4月にかけて説明会を開催するなど、評価書案に対する意見書に係る見解書の公示・縦覧も、ことしの7月に行わせていただきました。市民の皆様のご意見を踏まえながら、今月の13日には、環境影響評価書として公示・縦覧する運びとなりました。

またこの間、新ごみ処理施設整備事業という事業を行う方式につきましては、公設民営方式が望ましいというご意見をいただき、私たちといたしましては、公設民営方式を担っていただける事業者の選定についても、なかなか前例のない中、慎重で、多段階を踏んで進めてまいりまして、このたびJFEエンジニアリング株式会社が

選定をされました。この経過につきましては、参考資料の1にありまして、後ほど担当より説明をさせていただきますが、私から申し上げたいのは、新しいごみ処理施設をつくるに当たりましては、それが安全で、そして環境の面でも、また、市民の暮らしとともにあるという観点からも、地元の皆様に信頼していただき、そして受け入れていただくということが重要でございます。したがって、私たちが日常生活を行っていく上で必要不可欠な新ごみ処理施設について、環境と安全に徹底的に配慮した施設について、地域の皆様と協力し合い、つくり上げていかなければなりません。そのために、この地元協議会があるわけでございます。

いよいよ、目前に迫りました新ごみ処理施設に係る工事協定の協議、また、新ごみ処理施設が操業を開始した後に、環境影響に係る公害防止協定の協議や合意が円滑に行われるように、切に希望しているところでございます。

さて、本日第1回目でございますが、皆様方の任期は2年ごとに更新でございます。ただ、この協議会は、新ごみ処理施設が運営される20年間継続することになっております。20年間と申しましても、基本的には20年でございますが、その施設が稼働すれば、もちろんそれよりも長くなるということになります。この長い間、管理運営状況を逐次、組合としては情報公開をさせていただきながら、とりわけ、地域住民の皆様をはじめ、両市の市民の皆様に、機能的にも安心していただける施設として、その運営を進めていきたいと考えております。

繰り返しますが、この新ごみ処理施設は、三鷹市、調布市の両市民にとってかけがえのない施設でございますが、とりわけ、地元の皆様には、それが安全で信頼できる施設として建設され、また、管理運営されなければなりません。地元協議会の皆様には本当にお時間を煩わせることとなりますけれども、ぜひ、より良いものとなりますように、お忙しい中ではございますが、極力、万障繰り合わせてご出席いただき、ご意見、ご協議を賜りますようお願いを申し上げます。管理者からのごあいさつといたします。

どうぞよろしく願いいたします。

3 副管理者あいさつ

長友副管理者： ふじみ衛生組合第1回地元協議会の開催に当たりまして、ご参集いただきましたことに、私からも心から御礼を申し上げたいと存じている次第でございます。

ただいま、清原管理者のほうから本協議会の意義、また、本案件に関する歴史的な経緯等につきましては、丁寧なご説明がございましたので、私からはつけ加えさせていただくことは何もございません。私が市長になりましてから7年強になります。その間、本テーマに際し、皆様方と意見交換をさせていただきながら、一步一步歩みを進めさせていただいてきたところでございますが、自分なりのある種の考えを持って、やはり本案件の行政全体に対する意義は極めて大きいと、そのように認識をしているところでございます。環境行政にとって大きなテーマであるのみならず、2つの市がそれぞれの立場を、理解を示し、共有をしながら、1つの大プロジェクトを完遂させるという意味でも、先ほど、この協議会自体は20年以上続くというご説明をさせていただきましたけれども、そのこと1つをとってみても、本案件が40万人になろうとする両市の市民にとって、どれだけ大きい意味を持つか、今さら申すまでもございません。

その間に、本案件を中心といたしまして、大変幸いなことに、市民のごみ問題にとどまらず、環境全般に対する意識、これもどんどん、よい意味で高まってきたと認識をさせていただいております。狭義の意味でごみ問題だけに特化をいたしましても、いろいろな意味で、私ども調布市だけにとどまらず、三鷹市の中でも減量に対する成果は、顕著なまでに高まってまいりました。また、リサイクル率におきましても、両市の資源を有効に生かしていこうという市民の意識、リサイクル率の高さ、これは全国に誇るほどになってまいっております。そのような、市民意識のよい意味での高まりも、私どもの物事を考える中枢に置きながら、本案件に関して、これまでどおり順調に、最後の到達点まで進ませたいと思っております。その中身に大きな影響を及ぼしていただく議論を、皆様方をお願いをするわけでございますから、行政としても全力となって、

これまでどおり、いろいろな意味での検討、意識の共有、そして高い理想に向かっての歩を、完璧なまでに追求をしていきたいと、そのような思いで、第1回の協議会の冒頭に当たって臨ませていただき、今後に対するごあいさつとさせていただきます。

よろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。

4 委員自己紹介

【各委員自己紹介、事務局自己紹介、JFEエンジニアリング(株)自己紹介、パシフィックコンサルタンツ(株)自己紹介】

5 要綱の確認

【事務局から資料2「ふじみ衛生組合地元協議会設置要綱」を説明、各委員了承】

6 会長選出

【増田委員を推薦の声があり、各委員了承】

7 会長あいさつ

【増田会長あいさつ】

8 副会長選出

【小林秀行委員を推薦の声あり、各委員了承】

【要綱の規定により、もう1人の副会長に組合の高畑委員が選出された】

9 副会長あいさつ

【小林秀行副会長、高畑副会長あいさつ】

10 運営規程の確認

【事務局から資料3「ふじみ衛生組合地元協議会の運営に関する規程」を説明、各委員了承】規程のほか、以下の項目について各委員の了承を得る。

- ・傍聴については、会場の制約により10人程度とする。
- ・会議録の発言者表示は、会長、副会長とし、委員の名前はABCとする。

11 協議及び報告事項

(1) 地元協議会のスケジュールについて

【事務局から資料4「ふじみ衛生組合地元協議会協議スケジュール(案)を説明】

会 長 : 今月と来月については、各2回の地元協議会を開催したいと思う。後ほど、次の議題で日取りを確定したい。

A 委員 : 建設請負契約が3月となっている。11月から3月までの間に、請負契約をめぐって、どのような課題が残されているのか。

B 委員 : 今回の落札者の決定については、技術提案の提出により、その提案内容と金額で落札者を決定した。提案内容を、今後さらに、詳細について詰めていく作業がある。

もう1点として、今回の建設請負契約については、金額が1億5,000万円以上ということで、来年2月のふじみ衛生組合議会の議決を経る必要がある。従って、3月の月上旬に請負契約締結に至っている。

C 委員 : 設計については、いつできるのか。

B 委員 : 設計については二段階ある。基本設計、そして実施設計。基本設計の部分は、事業者選定において提出された提案書類、そういったものがもともになるので、今年度中にはでき上がると思っている。

建築確認等をとるための実施設計は、来年度前半になろうかと思っている。

C 委員 : 提案の設計はいつできるのか。提案については幾つかもらっていると思うが。

B 委員 : 提案の図面については、もらっている。提案された図面をもとに、基本設計を行う段階であり、今年度中に詳細を詰める予定である。

C 委員 : 12月中ということか。

B 委員 : 今後、特例の許可という手続が必要になる。特例の許可において、調布市のほうで求められる精度の図面については、その時期ぐらいまでには完成させなければいけない。

C 委員 : 12月にわかるということか。

B 委員 : 時期的には12月ごろだと思っている。

(2) 新ごみ処理施設整備に係るこれまでの経過について

【事務局から参考資料1「ふじみ衛生組合新ごみ処理施設の経緯」を説明】

C 委員 : 環境影響評価書案を縦覧したが、なかなか難解である。いろいろ疑問があって8月26日の「都民の意見を聴く会」で公述人として意見を述べさせてもらった。それらについて、東京都からいろいろ指示があったと思うが、その点はどのように訂正されるのか。

D 委員 : 評価書案について、公示・縦覧して、皆様方から意見書や都民の意見を聴く会などで意見をいただいた。それらについては、11月13日から公示・縦覧される環境影響評価書に反映させている。

- C 委員 : 東京都に指示されたことが、その中に反映されているのか。
- D 委員 : 例えば臭気のお話でさせていただくと、評価書の中にも、ふじみ全体で改善を図っていくというような形で、評価書の中で明記させていただいた。
- C 委員 : 緑地についても触れている。
- D 委員 : 植栽については、評価書案と現在の段階では、変更等はない。ただ、表記の方法としては、もう少し具体的にということでご指示を受けたので、そのような形にした。
- C 委員 : 具体的に色分けしなさいとか、広さを入れなさいと指示されているのではないか。
- D 委員 : 広さについては、評価書案の中で、例えば緑地のスペース、面積、それから屋上緑化の面積とか、そういったものを入れている。それに合わせて、今回作成した評価書の中でも、その評価書案の内容を踏まえて明記しているので、その辺はご理解願いたいと思う。
- C 委員 : 場所が明示されていないと、はっきり書いてあったではないか。
- パシフィックコンサルタンツ : 東京都からは知事意見という形で、今回の評価書案に関して審査意見をいただいた。大きくは大気汚染、それから地盤、水循環、土壌汚染と温室効果ガス等に関する項目である。
- あと、審議会の席上で、都民の公述意見があって、悪臭対策についての意見をいただいている。その点については、審査意見には入らなかったが、環境局の口頭指導ということだった。それを反映して、評価書の中では、施設全体として臭気対策を講じるということでの文言を付け加えている。
- C 委員 : 11ページと12ページにはっきり書いてあるじゃないか。これについて、返事をくださいよ。
- パシフィックコンサルタンツ : 緑化計画に関しては、工場の配置図等を示していたが、緑化計画図として独立していないということで、その点は東京都から指導をいただき、図面を追加した。その内容に関しては、13日から評価書のほうが公示・縦覧ということになるので、そこでご確認いただきたい。
- E 委員 : 環境影響評価書案というのは東京都の都市地球環境部で作成しているのか。それで今回、東京都の指導した方も出席されていると思った。

東京都の代表がそこにいる人だと思ったが、そういう理解でいいか。

- D 委員 : 環境影響評価書案は、ふじみ衛生組合が事業者として作成している。また、新ごみ処理施設の環境影響評価については、東京都環境影響評価条例に基づいているので、東京都との協議の中で進めてきている。彼は、この環境影響評価を作成するに当たって、コンサルタントとしてふじみを支援する立場である。

(3) 新ごみ処理施設整備の概要について

【事務局から参考資料2「新ごみ処理施設整備実施計画」を説明】

- C 委員 : 三鷹市は夜間収集を実施している。ごみ搬入の際の高速シャッターの開け閉めなどの騒音が心配である。現施設でも閉めもしない高速シャッターなら作るなど言っている。夜間収集については、搬入車のふかし音、シャッターの開け閉め音など防塵、防音、防臭などどう考えているのか、説明してほしい。

- B 委員 : 夜間収集について、参考資料2の23ページ。8.配置・動線計画の(1)ごみの搬出入車両条件の3行目を参照してほしい。「ただし、火曜日と金曜日は午前0時から午前5時まで夜間収集のごみを搬入することとし、その時間帯の収集車両台数は1日平均10台程度を見込むこととする」という記載がある。今、三鷹駅前において夜間収集を行っている。その関係で、週2日、1日10台ぐらい、東八道路側を通過してふじみ衛生組合の中に入ってくる予定となっている。

また、夜間のシャッターの開け閉めの騒音の問題があるのではないかとのことだが、夜間という時間帯なので、できる限り騒音を抑えて搬入するという形をとりたい。

- C 委員 : 深夜の開け閉めはかなわない、音が近隣に響く。

- B 委員 : 現在も、三鷹市の環境センターで、同様にシャッターの開け閉めを行っているが、一切苦情が来たことはない。その辺は、住民の皆様にご迷惑をかけないように、丁寧なシャッターの開け閉めをさせていただきたいと思う。

- C 委員 : 音は出さないと言ってください。

- B 委員 : それから密閉性の問題ですが、これはセンサーをつけて、入り口の扉と出口の扉が同時には開かないようなシステムになる。

- C 委員 : だからそれはだめだって、今でもあけっ放しじゃないですか。

- B 委員 : 今の不燃ごみ処理施設については、センサーはついていません。すべて手動で開け閉めしています。
- C 委員 : だから手動ではだめだと言っている。
- B 委員 : ですから手動にはしません。新しい焼却施設については……。
- C 委員 : 自動的にやりなさい。
- B 委員 : 自動的にやりますので、ご安心ください。
- C 委員 : だめですよ、信頼できませんよ。
- 会 長 : ほかにございますか。
- C 委員 : 音を立てませんと言えばいいんだ。エンジンも吹かしませんと言えばいいんだよ。
- B 委員 : 全く出さないわけにはいきません。今の三鷹市の夜間収集についても、空吹きをしなとか、プレスをするときも、できるだけ家から離れたところでプレスをするというように、きめ細かい収集方法をしています。今後も、ご近所の皆様にご迷惑をかけないようにしたいと思えます。
- 会 長 : ほかにご意見ありますか。
- C 委員 : 回答をください。サミットストアですごい音を出すんです。エンジン音が、かなわない。
- 会 長 : それでは、次の議題に入らせてください。
- C 委員 : 返事ください。出しませんとか、言いなさい。音は出しませんって。
- 会 長 : その回答については、「出しませんとは言えません」という回答です。
- C 委員 : 夜中の騒音を出す作業はやめたらよい。
- 会 長 : 本件は、別の機会に議論しましょう。
- C 委員 : だから高畑さんは私に説明するんだよ。
- 副会長 : 後ほど、私が説明しますから。
- C 委員 : 納得するように説明してください。

(4) 建設工事の概要について

【JFEエンジニアリングから参考資料3「工事概要説明書」を説明】

- 会 長 : 残りの議題は次回日程を決めるということですので、8時55分ぐらいまで、約10分間、今の説明に対する質問と意見を伺い、多分、途中になります。それは事務局で整理して、次回にきちんとした説明

をし、さらに議論を尽くすということにさせていただく。

副会長 : 多分、質問がたくさん出ると思う。それを聞かせていただいて、そして、次回それにお答えする形が一番よろしいだろうと思っている。本日は、質問を中心に聞かせていただき、次回に対応する形が効率的だろうと思っている。

会 長 : そういうことですすめたい。

C 委員 : クレーンが6本も立つということだが、テレビのアナログ、デジタルも障害を受けると思う。対策は何かやるのか。

会 長 : 工事中に電波障害対策をやるかどうかということ。J F Eのほうから、何か回答があるか。

J F Eエンジニアリング: 電波障害については、この重機自体が、キラーコンデンサーということで、特に外側へ向かって電波を発したり、外の電波を妨害するようなことはない。

C 委員 : 遮断しないのか。

J F Eエンジニアリング: はい。

C 委員 : クレーンを6本も立てたら遮断するのでは。

J F Eエンジニアリング: ここに6本書いてあるが、一遍に全部据わるわけではない。

C 委員 : わかりました。ただ、23年7月までアナログがあるから、反射はありますよ。ないなんてことはないでしょう。

E 委員 : 近隣に16メートルのマンションが建ったが、その周辺のテレビが一切映らなくなったり、パソコンが使えなくなり、携帯がつながらず、ものすごい数のクレームが起きた。そういうものに一切影響しないクレーン機種を使っているということだが、全体的にそういう心配はないのか。

それと、仮囲いをするとのことだが、仮囲いのタイプによって、騒音だとか粉じんがすごく違ってくる。どういうタイプの仮囲いを使用するのかを、次回でも着工前でも構わないので示してほしい。

もう一つ、この現場の掲示として、いわゆる騒音データが出るものを常時つけてもらえるのか。その辺の対策とかを聞かせてほしい。

会 長 : 今3つ質問があった。次回に回答いただくということで、いろいろな疑問の点を皆さんから伺ったほうがいいかと思う。

F 委員 : 搬入車両について、もう少し詳細な、例えば1日何台ぐらい入ってくるのかとか、どの時間帯を多く利用するのか、既にふじみ衛生組合のほうに資料があるのではないかと思うが、それを、次回にはぜひ説明していただきたい。工事の始まりはそういう点から地域の者は見ているし、それから我々の自治会は東八通りに面しておりますので、今でも大型トラックが常時とまっているわけです。その辺を非常に心配している。私どもも、また帰って、各自治会の皆様に説明しなきゃいけないわけで、これではあまりに大ざっぱ過ぎるので、もう少し詳細な説明をしていただきたい、これは希望です。

会 長 : 継続議題なので、次回にも意見をいただきたいと思う。予定の議題、スケジュール表以外は終わります。全体を通じて、何か一言というのがありましたら、どうぞ。

(「なし」の声あり)

1 2 確認事項

会 長 : それでは、12番目の議題、確認事項という中で、次回の日程を決めさせていただきたい。

(日程調整)

会 長 : 11月25日の水曜日、12月9日の水曜日と18日の金曜日、18時半からということで、今後3回のスケジュールを決めさせていただきました。

それからご報告ですが、第5回は1月の中旬ごろに開催したいと、事務局のほうで予定しております。詳しい日程は次回、あるいは次々回で決めたいと思いますので、よろしくお願いします。

E 委員 : 協議会委員の一般公募、調布市からは出ていないとのこと。これに出たいという方がいるが、今からでも間に合うのか。

副会長 : 公募チラシや『建設ニュース』にも掲載し、500メートルの範囲で配り、丁寧に募集広報をやったつもりだが、調布市のほうからは応募がなかった。委員決定の意思決定が既にされたので、2年間はこの体制でやらせていただきたいと思う。

1 3 閉会

午後9時散会